

3月8日は

国の天然記念物

蕪島ウミネコ繁殖地の指定100周年です

関社会教育課 43-9465

蕪島ウミネコ繁殖地

蕪島はウミネコの繁殖地として大正11年3月8日に国の天然記念物に指定されました。

蕪島とその周囲約109mが天然記念物の範囲となっており、国内最大のウミネコの繁殖地です。

また、島まで陸続きであることから、繁殖の様子を間近で観察できる国内で唯一の場所でもあります。



ウミネコ繁殖地を守る活動

毎年4月から8月初めまでのウミネコの繁殖期に、市では24時間体制で見回りを行っています。また、蕪島での餌やりやペットの立ち入りを規制し、呼びかける看板を設置するなど、さまざまな方法で繁殖地を守っています。このような地道な活動の積み重ねにより、100年という長い間、繁殖地は守られてきました。現在、市では、「蕪島ウミネコ繁殖地」と蕪島の美しい景観を次世代に受け継ぐために、ルールブックである「保存活用計画」の策定を進めています。



蕪島のウミネコ

100周年の記念事業

蕪島は天然記念物に指定されてから3月8日で100周年を迎えます。市では100周年を記念して、さまざまな記念事業を予定しています。

第一弾として、これら記念事業を周知していくために100周年記念のロゴマークを八戸工業大学と協同で作成しました。このロゴマークは100という雛を優しく抱き締める親ウミネコを描き、蕪島のウミネコの繁殖が親から子へと受け継がれ、ずっと続けられてきたことを表現しています。

指定100周年イヤーの令和4年度、ウミネコの繁殖を守り伝えていくためにも、皆さんで100周年の記念事業を盛り上げ、これからの保護について一緒に考えていきましょう！



ロゴマーク

ウミネコ豆知識

八戸市民の鳥としても定められているウミネコはカモメの一種で、他のカモメとは違って尾羽が帯状に黒くなっている点が特徴です。

毎年2〜3月頃から約3万羽が蕪島へ飛来し、繁殖を行ったのちの7月末ごろに離島します。一部のウミネコはそのまま蕪島の周辺で越冬します。

